



「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には、どんな小さなことでもいいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

## 高校生ボランティアセンター

### (愛称“friends”)の活動について

県内の高校生が集まるボランティア活動の拠点「高校生ボランティアセンター」では、(県立図書館 生涯学習サポート課に設置)毎年、高校生の企画によるボランティア活動を実施しています。平成25年度は25校34名の高校生スタッフが2グループ(環境、福祉)に分かれて、県内の高校生にも呼びかけてボランティア活動を行いました。平成26年度は、39名が活動の予定です。興味のある方は、下記のHPにアクセスしてください!



グループ活動の様子



小学生との交流(福祉)

詳細はこちら [http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k\\_vol/k\\_vol\\_top.htm](http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm)

高校生ボランティア

検索

## 小さなことから、ボランティア!

チャレンジボランティアパスポートを活用しよう!

### かながわ 高校生 チャレンジボランティアパスポート

社会の中で支え合う 自分の力を生かして

したいこと・できること



心と心をつなごう あいさつ運動

神奈川県・神奈川県教育委員会

横須賀市教育委員会



神奈川県では、今年度、「かながわ 高校生チャレンジボランティアパスポート」を改訂しました。

高校生チャレンジボランティアパスポートは、高校在学中に取り組んだ地域貢献活動やボランティア活動について、記録するものです。活動終了後に内容を記録し、学校の先生や施設の方などに証明をもらってください。

また、ボランティア活動の紹介・情報のホームページなど、皆さんがボランティア活動をする際に、役に立つ情報が盛り込まれています。パスポートを持って、ボランティア活動にぜひチャレンジしてください。



## わが校の地域貢献活動・ボランティア活動 第12回

### 学校全体でボランティア活動に取り組んでいます!

### 県立横浜南陵高等学校

横浜南陵高等学校は、近隣に高等特別支援学校や障がい者施設があり、ボランティアや地域貢献に関わる機会が多くあります。また、福祉教育が充実した学校で、県内に1つしかない健康福祉コースがあります。私は健康福祉コースで学んでいて、さらに社会福祉部という部活にも入っています。

健康福祉コースでは、港南台ひの特別支援学校との交流授業があり、交流を通じて生徒一人ひとりとの接し方や生徒への配慮などを学びました。

社会福祉部では、夏休みに近くの小学校で手話ソングの披露と手話講座をさせていただいたり、知的障がいがある子どもが入所している施設を一日ボランティアで訪問させていただいたりしています。また、学校説明会や文化祭では手話ソングの披露や、合唱コンクールや県高等学校総合文化祭では手話通訳をやらせていただくなど、貴重な体験をしています。

これからも手話の技術を磨きながら、ボランティアに参加したり、手話を広めたりするなど、障がいのある方、地域の方との交流を深めていきたいと思えます。

横浜南陵高等学校では社会福祉部以外にも、コーラス部、吹奏楽部、バスケットボール部、軽音楽部、図書委員会、ボランティア委員会など多くの部や委員会がボランティア活動に参加しています。(横浜南陵高等学校 3年 植木 桃代)



福祉施設での手話ダンス披露

#### 高校生の皆さんへ

あなたの高校で取り組んでいるボランティア活動の紹介や、実際にボランティアを体験した感想などを、記事にしてみませんか?

先生を通して、下記の連絡先まで申し込んでください。

